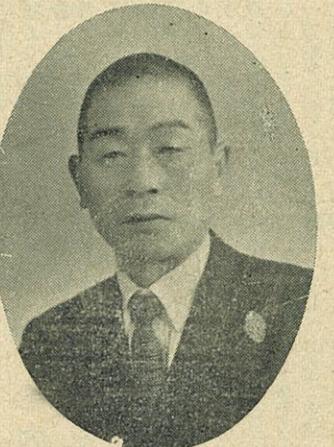


・主な記事・

名譽町民決定する 1
昭和39年度町予算決定 1
暮らしの法律相談室 5
太陽いっぱい運動 7
火の用心を完全に 8

広報かりぶと

町の人口
戸数 1,366戸
人口 7,956人
男 3,860人
女 4,096人
3月1日住民登録人口

高瀬金次郎氏
名譽町民に決定さる

さる三月十日に開催された町議会において、本町の発展のために、多大なる業績を挙げられた前町長の高瀬金次郎氏（六十九才）を

町長の推せんにより、名譽町民の称号を贈ることに万場一致で決定しました。

町長の推せん理由は、次のとおりです。

◎功績の事実
氏は、昭和六年六月狩太村議會議員に当選以来、昭和三十七年十一月狩太村長を任期満了となり退

職されるまでの間、凡そ三十二年余にわたり、連綿として本町の重要な公職に就かれ、町行政に日夜貢献され、その卓越な功業を挙げられ、その半生を町に捧げられましたことは、全く本町の労者であり、狩太町名譽町民条例により名譽町民の称号を贈る適格者であると存じ、こゝに推せんしたものです。

◎功績の大要
一、昭和六年六月一日僅

昭和三十九年度の予算を審議する第一回定例狩太町議会は、三月十日より五日間にわたつて議事堂で開かれ、提案された一億三千四百万二千円に上る一般会計予算、総額四千二百九十四万三千円の各特別会計予

算を原案のとおり可決されました。また町長は、この予算審議に先立ち、この町政の執行方針を、産業の振興、教育の施設設備の充実と住民の福祉に力をそぐとのべた。

かに三十八才の当時、狩太村議會議員に就かれ以来、昭和二十五年十月まで議員として連続当選し、この間昭和二十二年よりは、議會議長の要職にあつて議会政治を通じて本町の伸長に尽力された。

二、昭和十九年二月から

三、狩太村国民健康保険組合が、昭和十四年に設立されるやその理事に就かれ、また、昭和二十二年八月よりは理事として、昭和二十六年九月町直営事業として移行されるまでの間、幾多の困難を排し健保事業の進展に努められた。

四、昭和二十一年十二月から昭和二十四年八月までの間、狩太村農地

五、昭和三十七年十一月から昭和三十七年十一月までの間、三期におよぶ狩太町長の重要な職に就かれ、高い識見と厳正公平なる施策をもつて、土木、産業、教育、社会施設などの町行政の推進に尽すいしめられた。氏の成しとげた事業は数多く、その功績は金町民から深く感謝されているところである。

